

# 03

## やくざいし お薬の専門家 薬剤師

### おしえて！薬剤師のおしごと

#### びょうとうやくざいぎょうむ やくざいかんりしどう 病棟薬剤業務 薬剤管理指導

病棟の薬剤師はその病棟のお薬に関する業務を全般的に行います。入院している患者さんにお薬の説明をしたり、持ってきたお薬を調べたりする薬剤管理指導だけではなく、医師や看護師のお薬に関する質問に対応したり、どんなお薬を使ったら良いのかを医師と一緒に考えたり提案したりします。



#### ちやうざい ちゅうしゃちやうざい 調剤 注射調剤

医師が指示したお薬（処方薬）の種類や飲み方、飲む量が正しいか、お薬同士がお互いに邪魔をしないかなどを一つ一つ確認しながら、間違いなくお薬をそろえることを調剤といいます。病院では注射薬も同じように薬剤師により調剤されます。単なるお薬集めではなく、お薬が正しく安全に患者さんへ使用されるように薬剤師が責任を持って調剤します。

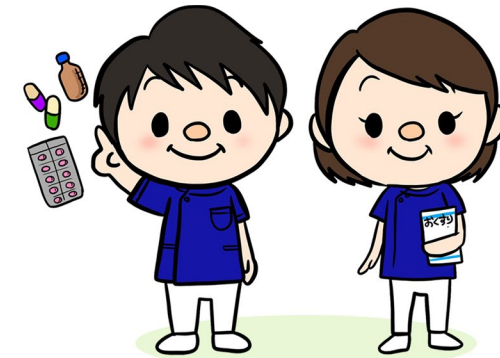
#### いやくひんじやうほうかんにぎやうむ 医薬品情報管理業務 (DI: Drug Information)

お薬が正しく安全に使用されるために情報を集め、最も良い治療が行われるように支援する業務です。医師やメディカルスタッフへの情報提供をはじめ、お薬に関する問い合わせへの対応や病院で新しく採用されたお薬が正しく使用できるように準備する業務も行います。



### どうすれば薬剤師になれるの？

薬剤師になるには、大学の薬学部または薬科大学に入学し6年間の教育課程を修了後、薬剤師国家試験に合格する必要があります。大学では5年生になると実務実習が教育課程に組み込まれていて、病院と薬局であわせておよそ5ヵ月間学ぶこととなります。薬剤師国家試験に合格すると申請により、厚生労働省の薬剤師名簿に登録され、厚生労働大臣から薬剤師免許が与えられます。



#### 豆知識

##### ①入院支援センター

2018年4月より入退院支援センターに薬剤師を配置しています。入院する前に患者さんが飲んでお薬を確認し、手術に影響をおよぼすお薬やサプリメントを服用していないかなどをチェックします。ここで得たお薬の情報を事前に登録しておくことで、入院時のお薬確認をスムーズに行うことができます。

##### ②がん化学療法薬剤師外来

薬剤師が患者さんに外来でがん化学療法（抗がん剤治療）の説明を行っています。がん化学療法では患者さんの年齢や体型、病状、体調などによって治療内容が異なったり、多くの薬剤を使用したりすることから十分な説明が必要となります。患者さんからの質問や相談も多く、医師や看護師と連携をとって対応することが求められます。